

●社会を明るくする運動「ミニ集会」開催

3月3日、瀬戸町内会館で、保護司、更生保護女性会、民生委員児童委員で「ミニ集会」を開催。参加者12名

今回は特にテーマを決めず、みんなで自分の住む町をすみ良い町にするために、身の回りのことなど自由に話し合いました。最近地域の防犯が心配、スマホの誘惑に中学生まで巻き込まれている。近所付き合いがなくなったなどの問題が出ました。



●キャンパスタウン金沢

1月21日・22日・29日。横浜市立大学看護学生によるお肌の測定会が六浦地区の各町内会館で行われた。参加者34名
これは皮膚測定によって看護学生は、住民の健康度を把握し、住民の健康の維持、向上を目指し、大学と地域との交流を目的にしたもの。地域もこれをきっかけに、大学と地域の交流の第一歩と受け止めています。



●駅前交番

1月10日は「110番の日」ということで金沢警察署から「1月7日に金沢八景駅前の警察官立寄り所で110番通報訓練を行いたい」との連絡がありました。

そこで町内会から6名が参加し、仮設の電話で通報訓練を体験しました。



●3年ぶりの高齢者お花見会 ～雨のため3会場に分かれて開催しました～



塩場町内会館



六浦睦町内会館



瀬戸町内会館

●親と子どもつどいの広場「たんぽぽ」に隣接した多世代地域交流の場(仮称)

令和5年1月の2次審査で惜しくも次点に終わる。これから実績を積み上げ再度チャレンジしていく。



「令和4年度社協むつうら第32号」編集を終えて

社協活動とは？ 地域にどこまで浸透しているだろうか？ 社協の活動を通じて地域を元気にしたいとの思いから、31号はまず社協って何？どんなことをしているのをお伝えすることからはじめました。いかがでしたでしょうか。アンケートにお答えいただいた皆様にお礼申し上げます。結果を踏まえ、今後も「社協 むつうら」は全世帯配布とさせていただくことにしました。皆様に手に取っていただけるような広報紙作りを目指していきます。引き続きご意見をお聞かせください。

広報啓発委員会 福島盛治 桑川和枝 矢澤啓司 中村 允 矢ヶ崎千恵